

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	高野地域協議体 なんすかんずつながる会			代表者名	草谷 洋
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	下高自治振興区	連絡先電話番号	0824-86-2679
担当者役職	事務局長	担当者氏名	草谷 洋	連絡先E-mail	
住所	727-0423 広島県庄原市高野町下門8				

##### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	庄原市	連絡先部署	庄原市役所高野支所	連絡先E-mail	
担当者氏名	小谷 美江	連絡先電話番号	0824-86-2115	連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	生活支援体制整備事業		
概要	高野地域の生活交通に関して、住民との協議や住民アンケートの分析結果から、地域の特性に合った移動支援を検討し、地域での取り組みを実施する。また、交通を軸にしたマーケティングによる地域内経済循環の仕組みを構築し、地域事業者の所得向上や地域活性化、暮らしやすさの向上を図る。移動支援やマーケティング、経済循環の手法等に対するICT技術の利用について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	計画策定支援 人材(DXに関する知識習得・研修・育成) デジタルデバインド対策 地域ビジネス ICT活用広報				

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	250K	令和7年2月28日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和7年2月15日	フォローアップ(実地)	13時30分	15時30分	
				活動時間(分)	120
2-2. 派遣場所	会場名	高野支所	最寄駅	オンライン	
	所在地	広島県庄原市高野町新市1171番地1	最寄駅からの交通手段	オンライン	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	福島 健一郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	2回目のワークショップやディスカッションにより、高野町で優先度の高い支援として高齢者への支援への声が多かったため、今回の助言は高齢者支援に向け具体的に構築できる仕組みについて助言いただいた。おでかけわごんは単に人を運ぶのではなく、目指す姿『家族(地域)がつながり安心して住める町づくり』を実現するためのサービスを提供していくためのものととらえ 1.たかの版Maas 2.離れた家族と地域との絆づくり(食、日用品、日常生活等へのサポート、出て離れた子どもへの状況報告) 3.支えあい(自治会単位でのネットワーク)の仕組み(困りごと支援)に絞り検討していただいたことで今後の方向性が少しずつ見えてきた。
アドバイザーへの要望事項	使いやすいたかの版交通システムの構築、高齢者と家族(地域)とのつながりの構築にあたり、簡易的ツールを作成するための仕様書作成にかかわるアドバイス

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	9人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2	7	0		

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"><li>人口減少に伴う事業所の存続・高齢者、子ども等移動弱者の町内、町外への移動手段(不便である)の利便性</li><li>移動が難しい高齢者への食、日用品、日常生活(草刈り、雪下ろし、電球取替)等へのサポート(地域・家族の見守り機能)</li><li>高齢者の生きがいの創設(行事の周知、集まりの場の強化や中心部での休憩場所の強化(おでかけワゴンでの待ち時間過ごしやすい環境整備)</li></ul>
-----------------------	---

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	1.おでかけわごんの予約システム(個人予約、集まりの場代表者による団体予約)の構築 2.地域のコンビニと連携した買い物支援システムの構築・休憩場所や集まりの場への移動販売車の配車予約等 3.おでかけわごんの制度や、バスを待つための町内中心部休憩場所、おでかけわごん帰り便代行予約事業所の周知、おでかけわごん利用で参加できる行事の啓発等情報提供を行うHP等の作成。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	2回目のワークショップやディスカッションにより、高野町で優先度の高い支援として高齢者への支援への声が多かったため、今回の助言は高齢者支援に向け具体的に構築できる仕組みについて助言いただいた。 おでかけわごんは単に人を運ぶのではなく、目指す姿『家族(地域)がつながり安心して住める町づくり』を実現するためのサービスを提供していくためのものにとらえ 1.たかの版Maas 2.離れた家族と地域との絆づくり(食、日用品、日常生活等へのサポート、出て離れた子どもへの状況報告) 3.支えあい(自治会単位でのネットワーク)の仕組み(困りごと支援)に絞り検討していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	1.たかの版Maasに盛り込んでいく事項の積み上げ(仕様書の作成) たかのの場合は、おでかけわごんに乗車したら2時間帰りの便がない。そのため、町内に出た際、休憩の場所、参加できる集まりの場の情報、買い物支援など待ち時間を利用してできる、用事や楽しみの見える化し選択することで、おでかけわごん、たすけっとの予約、集まりの場、休憩所、お買い物等の選択ができるシステム構築 さらに、1の利用が離れた家族と共有できたり、毎日の安否確認ができるような仕組みも盛り込めたらと考えている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 上記内容について、出来れば、先生に来年度もご助言をいただきながら次年度の事業につなげていきたい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	1.たかの版Maas(予約、お買い物支援、行事等の情報提供、休憩場所の提示) 2.離れた家族と地域との絆づくり(食、日用品、日常生活等へのサポート、出て離れた子どもへの状況報告) 3.支えあい(自治会単位でのネットワーク)の仕組み(困りごと支援) 1をまずやり、2を1の追加機能として組み込む。3はできるところから進めていくように考えている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 まだ検討段階であり、必要な機能等のアンケート等を実施するまで至っていない	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する 上記課題を達成するためどんなツールを導入していくかこれから検討していく、必要な経費があれば具体的に積算し、来年度予算化を図っていきたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	ICT技術を活用できるものは取り入れていくことで利便性が向上し、地域の経済循環が高まること、住民の暮らしがさらに豊かになるよう生活支援体制を築いていく。	
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
<b>なおくその他&gt;を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</b>		

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

